

## 令和4年度 第3回 国立大学法人北海道大学総長選考・監察会議議事要旨

日 時 令和5年1月20日（金）13:14～14:30  
場 所 WEB会議  
出席者 10名  
（学外） 杉江、浅香、五十嵐、河合、松沢 各委員  
（学内） 尾崎、瀬戸口、畠山、西邑、居城 各委員

オブザーバー

山口理事、増田理事、行松理事、高橋監事、石川監事

### 配付資料

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 1 | 総長選考・監察会議 当面の業務の流れ（案）                |
| 2 | 総長の業務執行状況の確認及び業績評価に関する申し合わせ          |
| 3 | 総長の業務執行状況の確認／業績評価 概要                 |
| 4 | 令和5年度 業績評価に関する検討課題                   |
| 5 | 申し合わせ改正の提案等について（議長提案）                |
| 6 | 総長選考の流れ・検討課題                         |
| 7 | 望まれる総長像～国立大学法人北海道大学の総長選考基準～（R2.4.13） |
| 8 | 総長の業務執行状況の確認について（令和4年度実施）            |

## 議 事

議事に先立ち、議長から、新任委員の紹介、オブザーバーの吉見理事・副学長のご逝去、及び、その後任が行松理事になることについて報告があった。引き続き、事務局から、令和4年9月22日に開催された令和4年度第2回総長選考・監察会議の議事要旨について確認があった。

### 【 議 題 】

#### 1 総長の業績評価の実施方法について

事務局から、資料1～5に基づき、総長の業績評価の実施方法の説明があった後、意見交換が行われ、次回の会議で引き続き審議することとなった。

た。

#### (主な意見)

- ・ 学内意見の照会対象には小部局も加え、全学的な評価のもと実施するべきである。
- ・ 従来は学内意見を系ごとに集めていたが、必要性に乏しいので、事務局から直接各部局に照会する方法がよい。
- ・ 現在の申し合わせでは法人評価資料が主たる評価対象となっているが、大学の評価と総長個人の評価は当然異なるものであるので、申し合わせを改訂する必要がある。
- ・ 法人評価資料を評価対象から外すことは差し支えないが、参考資料としては残しておいてほしい。
- ・ 望まれる総長像について、ある程度抽象的な表現にならざるを得ないが、各項目は簡潔に絞り込んだ形がよい。
- ・ 総長候補者による所見は、経営に関するビジョンや志を測れるものとするべき。

## 2 次期総長選考に向けた検討課題について

事務局から、資料1、6～7に基づき、次期総長選考に向けた検討課題の説明があった後、意見交換が行われた。今後、事務局においてスケジュール等を整理し、次回の会議で引き続き審議することとなった。

#### (主な意見)

- ・ 議論を進める前に、各検討課題の背景や過去の議論の内容を把握する必要がある。
- ・ 多面行動調査は、総長就任後の業績評価であれば効果的かもしれないが、総長候補者の段階では効果に乏しいのではないか。
- ・ 得票同数時に年長者を総長予定者とする規定は改めるべきである。
- ・ 任期については、6年間の中期目標期間が丸ごと含まれる方が、中期目標・中期計画を見届けるという点では望ましいのではないか。
- ・ 選考の各ステップが何のために設けられているのか、目的を明示するとよい。
- ・ 意向投票がない大学もあるが、総長就任後の大学運営には、選考時

に構成員からどれだけ支持を得ているかが大事な要素であるため、意向投票についても議論していきたい。

- ・望まれる総長像に学生や教育に関する表現がないので、今後検討していきたい。
- ・他大学では、総長選考の結果が問題となっている事例もある。具体的にどのような事例が問題となっているのか、調べて頂きたい。

## 【 報 告 】

### 1 令和4年度に実施した「総長の業務執行状況の確認」について

事務局から、資料8に基づき、令和4年度に実施した「総長の業務執行状況の確認」の結果を令和4年11月に総長へ伝達したことについて報告があった。

( 以 上 )